

特別の教育課程「人間と社会」の編成の方針

松阪市立飯南中学校

1. 「人間と社会」の内容

- ・松阪市立飯南中学校は、中高一貫連携教育における連携高校である三重県立飯南高等学校総合学科の原則履修科目「産業社会と人間」に接続する教科として「人間と社会」を設定している。
- ・飯南中学校における各学年の時間数は、
 - 第1学年は、「総合的な学習の時間」を15時間削減して「人間と社会」の時間に充てる。
 - 第2学年は、「総合的な学習の時間」を15時間削減して「人間と社会」の時間に充てる。
 - 第3学年は、「総合的な学習の時間」を35時間削減して「人間と社会」の時間に充てる。

2. 全体の目標および内容

①目標

- ・進路と自己理解（主として自分自身に関わること）
 - ア 自己の性格・興味・関心・能力・適性などの特徴を知り、自己理解に努めさせる。
 - イ 個性と職業の関連を考えさせ、職業に対する関心を育てる。
 - ウ 自己の生き方、ライフコースについて考えさせる。
- ・進路と職業、生活（主として職業に関わること）
 - ア 職業の種類や特徴、職業生活などについて理解させると共に、勤労の意義について学習させる。
 - イ 職業人として必要とされる能力や態度、勤労観・職業観を養う。
 - ウ 聞き取りや調査を通じて、自己の進路選択の在り方を考えさせる。
- ・進路と体験学習（主として郷土や産業に関わること）
 - ア 身近な地域の中での様々な体験学習を通して、郷土の自然や産業について関心を持たせ、体験学習の中で、自己の能力や適性等を伸ばすと共に、将来の進路選択に役立てる学習を行う。

②学習内容

第1学年

- ア 自分探しをいろいろな方法で行い、自己理解に関心を持つ。
- イ 身近な人たちの職業について調べ、職業についてや働くことに関心を持つ。

第2学年

- ア 地域の職場や事業所を訪問し、聞き取り学習を行い、仕事の意義や大切さを知ること、自分に適した職業や将来の進路について関心を高める。
- イ 上級学校についての聞き取りや調査を通じて、自己の進路選択への関心を持つ。

第3学年

- ア 飯南高校総合学科の学習体験をはじめとして、各高校の特色を知り、自己の進路選択の力を付ける。
- イ 職業体験学習を通じて、地域の産業を理解するとともに働くことの意義や将来の社会人としての心構えについて考え、進路設計の力を付ける。
- ウ 自己のライフコースを組むことで、将来に対しての展望を持つ。

3. 各学年の実践内容

第1学年

「様々な職業を知ろう！」

- ・自分の適性を知り、自分にあった職業を考えることができる。
- ・さまざまな職業について考えたり、調べたりすることを通して職業に対する興味・関心を深める。

「自分の将来の夢について」

- ・中学卒業後の自分の進路について関心を高めるため、自分の将来について考えることができる。
- ・伝えたい人に興味関心を持ってもらえるような発表の仕方を考え、わかりやすく発表する。

第2学年「高校調べ」

- ・自分が進学したい、または、興味・関心のある高校を調べ、進路選択に役立てる。
- ・将来の生活に目を向けるとともに自分の能力や適性を関連づけて進路を考える。

第3学年「わくわくワーク」（職場体験学習）

- ・主体的に地域で活動することを通して働くことの意義を学び、感性や創造性を高め、将来の自分の生き方を見つける。
- ・自らが目標を持ち、自己の進路選択ができるような力をつける。
- ・地域の産業に目を向け、様々な職業について知る。